



平成30年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 163 平成31年1月31日発行

発行責任者 下釜 祐保

校長室の窓から

満70歳に、萬歳！

校長 下釜 祐保



2月1日、明日は本校の誕生日だ。本校は戦後の教育制度改革により、それまでの旧制の5つの学校を統合して、佐世保南北2校の一翼を担う「長崎県立佐世保南高等学校」として誕生した。昭和24年2月1日のことである。この日から数えて、明日でちょうど70年の節目となる。人間で言えば「古希」、長寿の祝いの佳節である。

初代校長の照屋亀三先生は、開校とほぼ時代を同じくして発行された本校生徒会誌『青雲』創刊号に、

櫻花の情熱的なる、桃花の艶情的なるに比すれば梅花は理知的である。

身世匆忙として変転極まりない時代に處するは容易なことではない。人はその時代的特性に眼鏡の度を合わせることが必要であるが、その目は飽くまで高きを望む客観的鮮明さを持たねばならぬ。足下の混乱に意志の自由を失い、複雑なる事態に批判力の不健康に陥ることは創造的生活と縁を絶つことに他ならぬ。常に省みてその放心を求め、思うて無限の真実に迫らなければならぬ。

梅は愛を内容とする知性に輝く花である。

と、記されている。本校は、70年前の草創期から真理に迫ること、知の追求を伝統としている。

本校では、今年度（平成30年度）を創立70周年の年として、数々の記念事業や記念行事を企画・実施してきた。その機会あるたびに本校創立の原点に立ち戻り、現在の教育の取り組みを確認し、教育そのものの充実と深化の契機としたいと反芻してきた。9月22日の記念式典後、多くの関係者から、「“南高魂”が生きている」とのお言葉をいただいたことは喜ばしいことである。誕生日は、節目として成長を祝うと同時に、誕生時の思い、未来への思いを馳せる日でもある。

式典では、本校育友会の喜多整吾会長が万歳三唱の音頭をとられた。「南高が、80年・100年と地域に期待され続ける高校であることを願って」との掛け声であった。歴史は更に紡がれる。

明日は本校の誕生日だ。この地で青春の汗を流し、県内外・国内外で活躍している3万人を超える卒業生の思いを声にして、70回目の誕生日に「南高の教育よ、永遠たれ。未来につなげ、僕らの南高魂。萬歳！」と叫びたい。

～創立記念日に寄せて～

本校、第4回卒業生の井本南海雄氏から、

♪ “草木が原に永久の鐘” の考察

古希を越えて歌い続けられる応援歌について

佐世保南高で学び、学んだ皆さんに伝えておきたいこと

として、以下の貴重な資料をいただきました。創立記念日を迎えるにあたり、ぜひ一読を。

■「草木ヶ原に永久の鐘」は1923年生まれ

佐世保南高の第一応援歌「草木が原に永久の鐘」は、90年以上前の大正12年（1923）に長崎県立佐世保中学の第六応援歌として誕生しました。

その頃すでに佐中にはいくつかの応援歌を持っていました。しかし、この年の秋に長崎市で行われる柔道・剣道・庭球・陸上競技などの長崎県中等学校の競技大会に出場する選手を、新しい応援歌で激励し、送り出そうという機運が起り、複数の生徒有志により、文語体による七五調の格式高い「草木ヶ原に永久の鐘」が佐世保中学の第六応援歌として作詞され、当時よく知られた旧制高等学校の応援歌の曲を借用して歌われました。著作権などが無かった時代です。作詞した生徒有志の名前は残念ながら残っていませんが、以来九十余年の歳月を越えて、佐中から佐南高に歌い継がれているのです。

■佐中の「草木ヶ原に永久の鐘」が、なぜ南高の第一応援歌になったのか

佐中の第六応援歌だった「草木が原」がなぜ佐南高の第一応援歌になったのは、佐南高が佐中の校舎や校旗を引き継いだからではありません。学制改革で佐南高には佐中系の生徒の比率が高かったからでもありません。そこには、南高生や卒業生に書き残して置きたい出来事があったのです。

佐世保中学は昭和22年（1947）に学制改革で佐世保第一高校と併設中学校になり、翌23年には市内高校の合併分割によって佐世保南高と北高と、それぞれの併設中学が発足しました。複数の中学と女学校からの生徒が混じり合った新しい学校です。早速に校歌作成委員会が発足して校歌が作られました。入学式には間に合いませんでした。応援歌は誰も提案もしませんでした。そんな余裕は無かったのです。

間もなく7月になり、夏の全国高校野球大会の佐世保地区予選が始まりました。新しく発足したばかりの佐南高生と、その併設中学生は佐世保市民グラウンドに応援に駆けつけました。しかし発足直後の南高に応援団も応援歌もありません。「頑張れー」とか、「打てー」の掛け声だけでした。だが、スタンドを埋めた南高生の一角から期せずして「草木が原に永久の鐘・・・」の歌が沸き上がりました。新しい佐南高ですから佐中の応援歌ということも、当然ながら歌詞を知らない生徒が多数いました。だが数人が立ち上がって懸命に歌詞指導を始めました。応援歌はやがて大合唱になりました。予期しないことでしたが、佐南高の「知的遺産」と言って良い応援歌「草木ヶ原」が、佐中から佐南高が引き継がれた瞬間でした。立ち会ったのは球場に応援に駆けつけた佐南高の第一回から三回生、それに第四回生になる併設中学三年生でした。

この時が「草木が原」を佐南高生が歌った最初の応援歌、すなわち第一応援歌の伝達式になったのです。
(以下、略)

更に貴重な資料は続きます。創立60周年記念誌「柏葉」にも掲載されています。創立記念日を迎えるにあたり、本校の創立当時に思いを馳せ、校歌や応援歌について調べてみるのが本校生としての誇りでもあります。井本先輩、貴重な資料の提示、ありがとうございました。

3 学年 『 卒業まで 』

「立つ鳥あとを濁さず」や「旅の恥はかき捨て」などの慣用句がありますが、ここで言う「濁す」や「恥」とは何でしょうか？私は総じて「他人が不快に思うこと」と捉えています。71回生のみなさんには、その場に残る人たちから、また会いたいと思われる大人になってほしいと思っています。そして、相手の心を想うことの重要性はこれまで伝えてきたとおりです。学年目標として掲げてきた「想いやりの心」ですが、この3年間でどれだけ身に（心）についたでしょうか？卒業まで後1ヶ月余りとなりました。センター試験を終え進路実現に向けて努力している日々ですが、周囲と切磋琢磨しながら互いに尊重しあう、最後までいい関係で「また会いたい」絆を深めていってください。また、離れてしまう場所に濁りはないか。卒業までに1つずつ清めていきましょう。

2 学年 『 元号 』

「平成最後の〇〇〇」など、テレビでも新聞でもさまざまに特集が組まれている。30年前の、昭和から平成への改元が思い出されるのだが、定められた日の改元を待つというのは、不思議な感覚である。

元号（年号）の起源は中国にあり、前漢の武帝の時（西暦紀元前140年）に「建元」と号したのにはじまる。皇帝が「時間」をも支配するという思想だ。日本では645年に「大化」と号したのが最初。西暦と併せてこういう時間軸を持つ民族は、今では日本人だけだと思う。

西暦よりも元号という時間のスパンにおいて、多くの日本人は時代を語り、世相を語る。災害や紛争、スポーツや芸能、文芸・流行、景気・・・さまざまな事象が元号に結びつけられて意識され、「一つの時代」となる。個人的な事柄も含めて。

高校3年生は新元号と重なり合って記憶されていくはずだ。どういう1年になるだろうか？

1 学年 『 挑戦する勇気 』

先日行われた「生徒会サミット」という県内の生徒会関係の生徒たちが集まる会議では、本校の1年生が積極的に話し合いに参加しました。また、各部活動の大会においてもひたむきにプレーする様子が見られました。九大訪問後は模造紙にまとめて、各クラスでプレゼンテーションをしました。その内容がとても工夫されており、学年職員は73回生のプレゼン能力の高さに驚きました。

このように学校生活では君たちの力を発揮し、活躍するチャンスが多くあります。今年は南高の中堅学年となります。ぜひ成長するチャンスをとらえて、勇気を持って挑戦してほしいと思います。

一方で、南高に慣れてきたことが惰性とならないように、勉強への取り組みなど初心に戻る必要があります。提出物の管理、体調管理をきちんと行い「自己管理」に努めて充実した毎日に行きましょう。

～大学入試センター試験を終えて～

平成31年度大学入試センター試験が1月19日(土)、20日(日)に実施され、本校生徒は、長崎国際大学会場において受験しました。2日目に多少雨が降ったものの極端に冷え込むこともなく、無事に受験を終えることができました。生徒たちは程よい緊張感に包まれながらもリラックスした様子で、落ち着いて受験ができたようです。休憩時間の控え室では、先生方が生徒をねぎらったり、生徒たちが互いに励ましあったりする姿が見られ、良い雰囲気の中で2日間の日程を終えました。

これから生徒たちは自己採点結果をもとに志望大学を決め、出願していくことになります。併せて、1月22日からは、国公立大学・私立大学等の個別学力試験に向けた対策講座が始まりました。センター試験を終えても、受験生にとっては前半戦が終わったに過ぎません。我々職員も生徒一人ひとりの進路実現に向けて最後まで支援していきたいと思えます。



女子バスケット部&男子バレー部



九州大会出場決定！！

1月26日(土)～1月28日(月)に行われました長崎県高等学校新人体育大会で、本校女子バスケットボール部が「準優勝」、男子バレーボール部が「第3位」という、素晴らしい結果を出してくれました。この結果により両部とも、以下の日程で九州大会に出場します。九州大会での活躍を期待して、南高全員で応援しましょう！

【男子バレーボール部】

第29回全九州選抜高等学校バレーボール大会 2/8(金)～2/10(日) 宮崎県

【女子バスケットボール部】

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会 3/22(金)～3/24(日) 福岡県

《 2 月 行 事 予 定 》

1日(金)	開校記念日、Sプロ(3年)	16日(土)	Sプロ(3年)
2日(土)	進研M(2年)、Sプロ(1年)	21日(木)～26日(火)	学年末考査(1・2年)
3日(日)	進研M(2年)、ハイレベル模試(1年)	22日(金)	前期受験者集会
5日(火)	推薦入学者選抜(午後)	25日(月)	国公立大学前期試験
6日(水)	常任委員長改選	28日(木)	卒業式予行
9日(土)	個別学力試験対策模試(3年) Sプロ(1・2年)		同窓会入会式



《 3 月 行 事 予 定 》

1日(金)	第71回卒業式	12日(火)	教室移動(2年)
2日(土)	Sプロ(2・3年) スタディーサポート(1年)	13日(水)	教室移動(1年)
5日(火)	検査会場設営	19日(火)	教科書販売
6日(水)～8日(金)	高校入試のため自宅学習	20日(水)	校内大会
9日(土)	Sプロ(1・2年)		海外研修結団式(1年)
		22日(金)	後期終業式 離任任式
		25日(月)	海外研修(～4/1)

